

■糖尿病の皮膚病変①

糖尿病になると排尿時に、陰部や足の皮膚に尿の中に含まれるブドウ糖が付着してしまう場合があります。こうなると、カビの一種である白癬菌やカンジダ菌がはびこり、『水虫』の状態になります。

糖尿病の方は、免疫力も低下しているため、『水虫』が拡大、悪化し、痒みをともなうこともあります。掻きくずした傷口から細菌が進入し、『水虫』との混合感染を起こすと、治療が難しくなります。

予防は、普段から陰部や、足などを良く洗浄して清潔に保っておくことが必要です。

平成27年 11月分

NAVI通信原稿

はらクリニック

原 徹